

つなぐ

春は門出のうれしさに

3月から4月と、この時期には毎年、各幼・小・中の卒業式、入学式にご招待いただき、お祝いに参加させていただいています。

小学校ではまだ遊びたい盛りの新入生が、6年後の卒業式では周囲を気にする様子を見せる上級生に、そして中学に入って緊張していた1年生が、少し大人の顔をした3年生になって卒業していきます。

我が家の小さなお姉ちゃんはおもうすぐ3歳。1歳に満たない弟を気に掛ける様子も見せますが、まだまだワガママ放題です。この子たちがこれから入学と卒業を繰り返すたび、大人になるのかと想像し、不安もありながら、楽しくもあります。娘が嫁ぐことだけは考えないようになっています。

館長 清原 弘章

平成 29 年
春号
(通算第 9 号)

発行

(公財) 奈良市生涯学習財団

富雄公民館

奈良市鳥見町二丁目9番地
0742(43)5386

〒631-0065



畑の草刈り中。「こつち、こつち。」と手招きするのは小中道晃さん(88才)。後ろを付いていくと、指差す方に、年季の入った大きな樽。中を覗きこむのに背伸びをする程の高さ、直径は1mくらいでしょうか。

「葡萄酒の樽ですわ。」と言われて驚く私に、満足気な小中さん。「びっくりです。詳しく教えてください。」これが、富雄の葡萄酒について調べるきっかけでした。

樽の持ち主である大神勝美さん(72才)によれば、当時の三碓山田(現在の三碓町(鳥見町4丁目付近)には、確かに葡萄園がありました。大神さんのお祖父様も、備中鉄で山を開墾した一人。

葡萄栽培は、大正末年に河内(現在も栽培が盛んな羽曳野・柏原方面)から移住してきた増井宗三郎氏(ますい そうざぶろう)によって広められ、昭和3年には約1万5千坪(甲子園球場の約1.3倍)の葡萄園が広がっていたようです。

主に栽培していた品種は、丘陵地の気候に合ったデラウェア。これを使った葡萄酒も、年間20トンを超える生産量を誇っていました。開戦による禁酒の影響を受けたもの

の、葡萄酒の製造工程で取れる酒石酸(※)が軍事目的で利用できることから、戦争末期には補助金を受けて栽培が継続されました。

「葡萄酒を出荷するための木箱作りは、子どもの私も手伝いましたよ。木を組んで釘を打つて。」と、大神さん。各農家で箱詰めされた葡萄酒は、谷間にあった倉庫(現在の阪奈道路富雄インター前の薬局付近)に集められ、京阪神に出荷されていたそうです。



葡萄酒の香り

- 大正 - 昭和の三碓山田 -



その後、労賃の高騰や害虫ブドウネアブラムシによる被害で徐々に衰退。阪奈道路が建設された昭和33年、富雄の葡萄栽培は終焉を迎えます。

「10年くらい前に、樽を置いて

る納屋で古い一升瓶を見つけましたね。ガソリンかと思いつながら蓋を開けると、なんとも良い香りです。年月を経たブランデーみたいですね。その葡萄酒が本当に美味しかったです。」



葡萄酒の樽の前でお話した大神さん

「ご両親が自家製の葡萄酒を少し舐めさせてくれたという、大神さんの少年時代が蘇る芳醇な香り。こんな美味しいタイムカプセル、60年以上前に、誰かが知って隠した物だとしてら……なんて、妄想に耽っている——小中さんの、あの悪戯な笑顔が浮んで、ひとり可笑しくなるのでした。」

(泉)

(※) 酒石酸：カリウムおよびナトリウムを化合させることにより、敵機の音波をすばやく捉える特性があるロッシェル塩ができる。これを軍事目的で利用するため、全国各地のワイン工場は軍の管理下に置かれた。

* 葡萄酒で使用していた樽やカゴのカラー写真は、公民館ロビーで掲示しています。

こんなことがありました

全国優良公民館

文部科学大臣表彰をいただきました！

全国の約1万5千ある公民館の中から、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められる公民館を、文部科学省が優良公民館として表彰しているものです。

今年度は全国から72館が選ばれ、富雄公民館はそのうちの1館として、3月1日に東京の霞が関にある文部科学省第二講堂での表彰式に出席いたしました。

今回当館は、「平成27年度に実施した」とみお☆カンガルーくらぶ」という事業をはじめとする取組が評価され、受賞にいたしました。

これらの事業でご指導いただいた諸先生方をはじめ、日頃より学習活動に励み、さらに学習内容を活かして地域に貢献する活動に尽力してこられた皆さま、常日頃ご助言・ご協力をいただいております。皆さまのお蔭と感謝しております。

今後とも、富雄公民館をどうぞよろしくお願いたします。



平成29年3月1日
文部科学省 第二講堂にて

5/(木) 10時~11時30分
25~ 12/21 までの毎月最終木曜 (内容により変動あり/全8回)

とみお☆カンガルーくらぶ

親子で一緒に楽しめる、月1回のお楽しみ♪
子育てセミナー、幼稚園の体験入園、作って遊ぶ工作など
充実の内容です。

費用：300円
(各回の実施内容により、別途必要な場合があります)

定員：富雄中学校・富雄第三中学校区在住の
3歳児と保護者 15組 (最大35人)

締切：5/9 (火) (多い場合抽選)

ホームページ
掲載は
4月から

5/(木) 13時30分~15時30分
11~ 2/8 までの毎月第2木曜日
(8月を除く/全9回)

いきいきクラブ

音楽コンサートや軽スポーツ、館外学習と盛りだくさん。

費用：500円
(各回の実施内容により、別途必要な場合があります)

定員：富雄中学校・富雄第三中学校区に
在住の概ね65歳以上の人 80人

締切：4/20 (木) (多い場合抽選)

ホームページ
掲載は
4月から

こんな講座をやります！

5/(金) 10時~12時
26・6/2・6/9 (全3回)

今日から始める！脳トレ速読

速読初心者を対象にした、文章を速く正確に読み解く
トレーニングを行います。脳トレにも効果がある速読を
身につけて、毎日をイキイキ元気に過ごしましょう！

費用：500円
定員：市内在住・在勤・在学の 成人 20人
締切：5/16 (火) (多い場合抽選)

ホームページ
掲載は
4月から

お申込み方法 (1~3のいずれか)

- 1) 往復はがき…「講座名」「氏名、ふりがな」「年齢」「性別」「住所」「電話番号」を記入し、公民館へ
- 2) ホームページ…「まなぶなら (<http://manabunara.jp>)」の「講座案内」をクリック
→「富雄公民館」をチェックして「検索」
(または左のQRコードを携帯等で読取る)
→各講座のページの下部にある「参加申込」をクリック
→必要事項を記入して「確認」をクリック
→確認画面の下部にある「送信」をクリック
- 3) 富雄公民館の窓口…窓口で専用紙に記入。
返信用のはがきが一人一枚必要



編集後記

ひさしぶりの特集記事はいかがでしたか？富雄団地や最近できたハグズタウン周辺の、昔の姿が伺える内容です。

子どもの頃のふるさとの思い出は、皆さんにもあると思います。それは、誰にとってもかけがえのないものです。たとえ街の発展とともに、ふるさとの姿が少しずつ変わっていったとしても。

今、富雄に育つ子どもたちにも、今の富雄の思い出を残してあげたいですね。